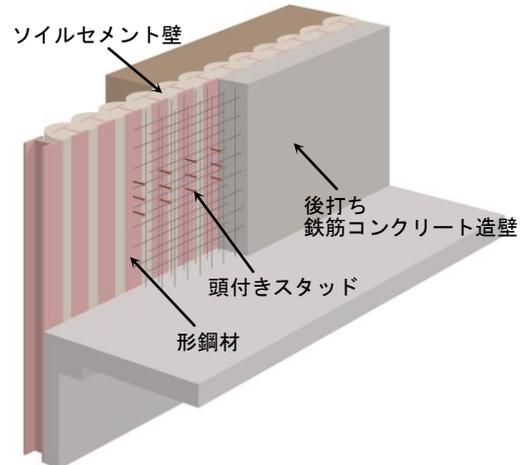


<p>【技術の名称】 CUW工法 ー山留め壁の応力材と後打ち鉄筋コンクリート造壁を構造的に一体化させた壁体工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第02-13号 性能証明発効日：2002年09月03日</p> <p>【取得者】 安藤建設株式会社、佐藤工業株式会社、西松建設株式会社、株式会社間組、株式会社フジタ、三井住友建設株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、山留め壁の構造要素である形鋼材（H形鋼またはI形鋼）と後打ち鉄筋コンクリート造壁（地下外壁または擁壁）を、形鋼材のフランジ面に溶接した接合要素（頭付きスタッド）によって一体化し、壁体として利用する技術である。本工法の特徴は、形鋼材と後打ちコンクリート造壁の剛性に基づく両者の離間判定を行い、それぞれが独立した曲げ抵抗部材と見なせる場合（「重ね壁」と呼称する）と、両者が一体の曲げ抵抗部材と見なせる場合（「合成壁」と呼称する）の2通りの設計法が用意されていることである。

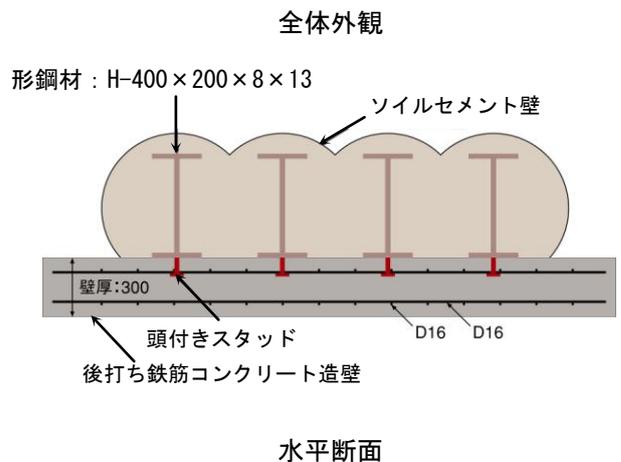


【技術開発の趣旨】

本技術は、従来、仮設としてのみ用いられている山留め材の構造要素である形鋼材と後打ちの鉄筋コンクリート造壁とを合成させて地下外壁あるいは擁壁に利用することにより、壁体の設計の合理化を図るとともに、形鋼材の有効活用を図ろうとするものである。

【性能証明の内容】

申込者が提案する「CUW工法設計施工指針」に基づいて、重ね壁法あるいは合成壁法によって設計・施工される合成構造壁は、土圧および水圧などの側圧による長期荷重に対して、壁体として要求される構造性能を有していると判断できる。



C U W工法による地下外壁の例

【本技術の問合せ先】

安藤建設株式会社 担当者：根本 恒 E-mail：fvgv0182@mb.infoweb.ne.jp 〒356-0058 埼玉県ふじみ野市大井中央 1-19-61
 TEL：049-267-3524 FAX：049-266-6035/佐藤工業株式会社 担当者：出水 俊彦 E-mail：Demizu@satokogyo.co.jp 〒103-8639 東京都中央区日本橋本町 4-12-19 TEL：03-3661-7046 FAX：03-3661-1269/西松建設株式会社担当者：新井 寿昭 E-mail：toshiaki_arai@nishimatsu.co.jp 〒105-8401 東京都港区虎ノ門 1-20-10 TEL：03-3502-0263 FAX：03-3502-0228
 /株式会社間組 担当者：八重樫 光 E-mail：kyae@hazama.co.jp 〒105-8479 東京都港区虎ノ門 2-2-5 TEL：03-3558-5817 FAX：03-3558-5825/株式会社フジタ 担当者：佐藤 幸博 E-mail：ysato@fujita.co.jp 〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5 ソニックシティビル 17F TEL：048-657-1631 FAX：048-657-1494/三井住友建設株式会社 担当者：能森 雅己 E-mail：mnou@smcon.co.jp 〒104-0051 東京都中央区佃 2-1-6 TEL：03-4582-3115 FAX：03-4582-3233